

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	民俗資料収蔵室
所 在 地	豊橋市多米町字滝ノ谷34番地1の1
指 定 管 理 者	多米校区文化協会
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担 当 課	教育部 美術・文化財課(0532-51-2882)
令和6年度指定管理料 (決算)	1,044千円
令和7年度指定管理料 (決算見込)	1,193千円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	計画書の通り自主事業が実施された。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書に基づき人員配置がなされている。労働環境は関連法令等が遵守され、適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	業務従事者に管理運営の適切な実施について指導を行っている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急時には美術・文化財課（美術博物館）への連絡を行うことになっている。危機管理マニュアルの整備もしており、地域と連携し防災訓練を行うなど危機管理に対する取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	確保されている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	137日	141日	152日	11日
			利用者数				
			a.個人	2,045人	1,736人	2,082人	346人
			b.団体	2,827人	1,782人	3,261人	1,479人
	【要因分析】 多米小学校の大きなイベントが2回開催され、団体は大幅な増加となっている。個人についてもSNS等の活用や団体イベント等でも認知され、リピーターも多くなり増加した。						
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・「見どころ紹介新聞」の作成・掲示 ・屋外、屋内の季節や行事ごとの展示替え及び点検清掃 ・地域の小学校と連携した絵画作品展示（岩田小学校・多米小学校） ・SNS等に季節の展示やイベントをPR ・小学校と連携したイベントの開催(多米造形パラダイス・多米万博) ・修繕（樋、倉庫のドア、防錆剤塗り、ペンキ塗り）				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	令和7年4月～令和8年3月に独自の利用者アンケートを実施 運営全般に関して　とても満足　59.6% 満足　38.2% ふつう　1.5% やや不満　0.7% 不満　0% 「とても満足」「満足」が97.8%と多数を占める。「ふつう」1.5%、「やや不満」「不満」を感じている利用者が0.7%という結果になった。 普通～満足が99.3%で利用者の満足度は非常に高いと考えられる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内 容		対 応		
展示物が多く、間近で貴重な古い資料がよい状態で見学できた			今後も見る側に立ち、わかりやすい展示を心がける				
もう少し詳しく知りたい			イラスト入り解説を増やした				
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	利用者からの苦情等はなかった。					

管理 経費等 の 収 支 状 況 等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は適切に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	乖離していない。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	1,193千円	指定管理事業費	1,193千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
	その他収入					
		収支差額		0千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	施設管理にとどまらず、ロケーションを生かした屋外における季節の展示、屋内のテーマ展示を昨年以上に工夫して行った。こまめな施設点検やグラウンド整備を行い、修繕が必要な箇所は迅速に対応した。 多米小学校との連携を図り、見学・体験に加え「多米造形パラダイス」や6年生児童主催の「多米万博」を実施し、地域の方にも参加してもらい世代間交流や歴史の学びに施設を活用することができた。また、ふるさとの風景を題材に、多米小学校と岩田小学校と連携し、全児童約1,300人の絵画作品を展示し、保護者の来場の機会にもつながった。
当年度の対応方針	一部劣化したキャプションを見直し、新しく見やすいものに書き変えるなど、更なる展示工夫に努めていただき、民俗資料収蔵室の知名度向上及び利用者の獲得に努めてほしい。
指定管理者の自己評価	仕様書に基づき適切に業務を行った。こまめに点検を行い、破損や不良部分を遅延なく美術・文化財課に報告した。地域のボランティアと協力して草刈り等こまめに整備を行い、利用者が安心安全に使用できるように心掛けた。また、屋外展示では鯉のぼりのポールを増やしたり、屋内では来館者が楽しめるような工夫をした。 地域および学校、こども園との連携を強め、地域の子どもから高齢者まで、施設の活用が広がった。
総合評価	事業計画書、協定書、仕様書等に基づき適正に管理されている。施設の管理面では利用者の安全を考慮し、日頃から点検を行い必要な修繕や整備が行われている。 アンケート結果も高評価を得ており、自主事業の「古多米で七夕飾りを作ろう」や「古多米で昔ながらの餅つきを体験しよう」に加え、利用者が「楽しく考えながら見る」という視点を常に持ち、わかりやすいイラスト付きキャプションに差し替えたり、さらにクイズ形式のキャプションを加えるなど工夫を凝らしている。 また、小学校と連携して「多米造形パラダイス」や「多米万博」を開催するなど、地域と協力して積極的に活動内容を充実させており、利用者の大幅増に貢献していることも大変評価できる。
次年度の対応方針	展示室を5つのテーマに分け、現在の展示方法を見直しつつ、必要なキャプションを追加していくなど、更なる展示工夫に期待する。また、昨年以上に小中学校に働きかけ、若手教員の研修に利用していただき、感想や意見交換を改善につなげて民俗資料収蔵室の利用者の獲得と知名度向上に努めてほしい。